

根室管内	標津町
<p>●実践の概要</p> <p>「しべつ未来塾」による各種地域づくり活動の展開 「地域防災」をテーマに標津高等学校と連携し、子どもたちの防災学習への支援や、町民を巻き込んだ避難所運営訓練(リアル HUG)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象(ターゲット) 町内小中学生、地域住民(町内会関係者) ・主な連携・協働内容 DoHUG をベースに標津高等学校が独自に作成した「標津町オリジナル HUG」を、紙面上にとどまらず、実際に標津高等学校を会場に、町内会関係者等の一般町民を巻き込んだ形で行うことで、高校での取り組みを地域に広げ、地域の防災意識を高めるとともに、災害発生時の協働関係の構築を図る。 また、これまで防災に関する交流を積み上げてきた、岩手県立釜石高等学校の夢団の皆さんに来町いただき、避難所での体験をはじめとした、自らの災害体験を伝えてもらうことで、参加者が自然災害の脅威について深く実感し、命の大切さや、災害を乗り越えるための地域の協力の在り方について考えを深める機会とし、今後の標津町における循環型防災教育のより一層の発展を図る <p>※しべつ未来塾は、人材育成、若者のつながり作り等を目的に町の事業として実施しており、20代～30代のメンバー13名が現在在籍し、地域防災、町内外との交流、情報発信等に重点を置いて活動している。</p>	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町では標津高等学校生徒を中心とした循環型防災教育の確立を目指しており、本年8月にはしべつ未来塾と高校生の釜石市をはじめとした、東北視察研修を実施した ・標津高等学校としべつ未来塾はこれまでも地域防災に関する取り組み(小中学校での防災学習支援等)を連携して行ってきており、これまでの学びを地域に波及させ、標津町の防災力を高めたいという思いがあった ・それらを形にするため、未来塾と標津高校が連携し標記事業を実施する運びとなった。 <p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等の話し合いの場の設定、具体的な内容の詰め。 ・町内会関係者との折衝 ・広報活動 	

●実践で難しいと思ったこと・困っていること

- ・ 予算の確保（防災教育の所管）
- ・ 町民の巻き込み

●改善のアイデア

- ・ 防災担当部署である住民生活課と連携し、防災教育事業に関する予算確保を行う
- ・ 町内会関係者と高校・未来塾の関わりの場を確保（あいさつ運動など共通事業の場を有効に活用）
- ・ 町民向け避難訓練等への標津高等学校、未来塾の協力

●実践での行政職員の関わり

- ・ 関係団体のつなぎ役
- ・ 備品借用、必要物品準備等
- ・

●実践後の対象の変容

- ・ 地域防災に関する参加者の意識向上
- ・ 高校と地域のつながりがより強固に

●実践から導き出された社会教育行政職員の役割

- ・ コーディネート
- ・ 各関係団体のつなぎ作り
- ・ 必要物品準備支援
- ・ 教育的な指導・助言